

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

< 第43週 > 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、第40週から増加傾向が認められており、第43週も増加した / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.5-6

急性脳炎(2004年9月1日～11月7日報告分)



病原体情報  
P.7-8

手足口病患者から検出されているウイルス 2004年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年



速報  
P.9-10

2004年9月上旬に発生したノロウイルスによる食中毒 - 青森県 / 急性脳症の集団発生報告 - 新潟県



海外感染症情報  
P.11-13

鳥インフルエンザのタイからベルギーへの持ち込み - 密輸された鳥類 / 米国、カナダでのウエストナイル熱流行状況



感染症の話  
P.14

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(43週)  
P.15-21



43週のデータ  
P.22-31



# 発生動向総覧

\*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

## < 第43週コメント > 10月28日集計分

### 全数報告の感染症

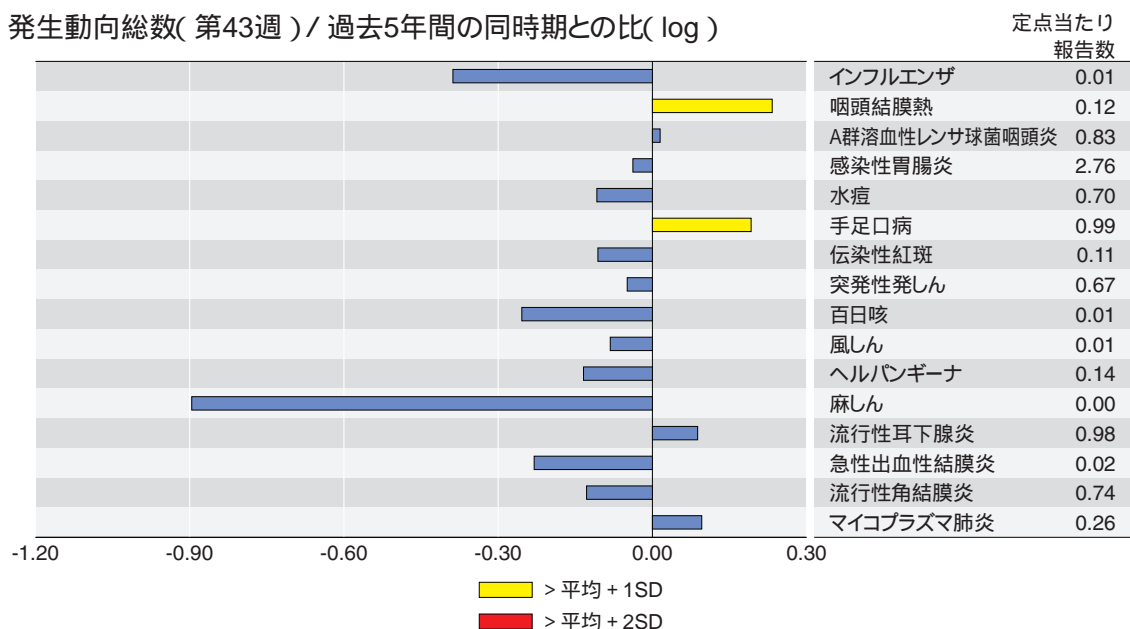
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ 1例( 推定感染地域: インド )  
 細菌性赤痢 7例( 推定感染地域: 国内1例、中国2例、フィリピン2例、インド1例、ウズベキスタン1例 )  
 腸チフス 3例( 推定感染地域: いずれもインド )  
 パラチフス 3例( 推定感染地域: インド1例、ネパール1例、タイ/インド/パキスタン/トルコ1例 )
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 46例( うち有症者31例 )  
 報告の多い都道府県: 大阪府( 7例 ) 兵庫県( 6例 )  
 血清型・毒素型: O157 VT $\alpha$  17例 ) O157 VT1・VT $\alpha$  16例 ) O26 VT $\alpha$  4例 )  
 O157 VT1( 2例 ) O111 VT1( 2例 ) その他( 5例 )  
 年齢: 10歳未満( 22例 ) 10代( 1例 ) 20代( 9例 ) 30代( 3例 ) 40代( 2例 )  
 50代( 3例 ) 60代( 3例 ) 70歳以上( 3例 )
- 4類感染症: つつが虫病 3例( いずれも福島県 )  
 デング熱 2例( 推定感染地域: ネパール1例、カンボジア1例 )  
 日本紅斑熱 2例( 徳島県、宮崎県 )  
 レジオネラ症 1例( 70代 )  
 レプトスピラ症 2例( 推定感染地域: 国内2例( 愛媛県、神奈川県 ) )
- 5類感染症: アメーバ赤痢 4例  
 推定感染地域: 国内1例、インドネシア1例、不明2例  
 推定感染経路: 経口1例、性的接触( 異性間 )1例、不明2例  
 ウイルス性肝炎 4例  
 ( いずれもB型 ) 推定感染経路: 性的接触2例、不明2例 )  
 クリプトスポリジウム症 1例( 推定感染地域: 南米 )  
 クロイツフェルト・ヤコブ病 3例( いずれも孤発性 )  
 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例( 60代、死亡 )  
 後天性免疫不全症候群 21例( 無症候17例、AIDS 3例、その他1例 )  
 推定感染経路: 性的接触16例 ( 異性間4例、同性間11例、異性間同性間  
 不明1例 ) 不明5例  
 推定感染地域: 国内19例、ブラジル1例、不明1例  
 梅毒 4例( 早期顕症II期1例、無症候3例 )  
 バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例  
 ( 遺伝子型: VanC\_\_菌検出検体: 血液 )  
 急性脳炎 13例( すべて病原体不明 . 20代1例、50代2例、60代6例、70代1  
 例、80代2例、90代1例 )  
 ( 補 )他に、梅毒1例の報告があったが、削除予定。また、報告遅れとして、レプトスピラ  
 症1例( 推定感染地域: 国内( 長崎県 ) )、急性脳炎17例( 単純ヘルペスウイルス1例  
 ( 80代 ) 肺炎球菌1例( 70代 ) 病原体不明15例( 10代1例、40代1例、50代2例、60  
 代4例、70代4例、80代3例 ) )の報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関( 定点 )から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 )定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 )に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数( 第43週 ) / 過去5年間の同時期との比( log )

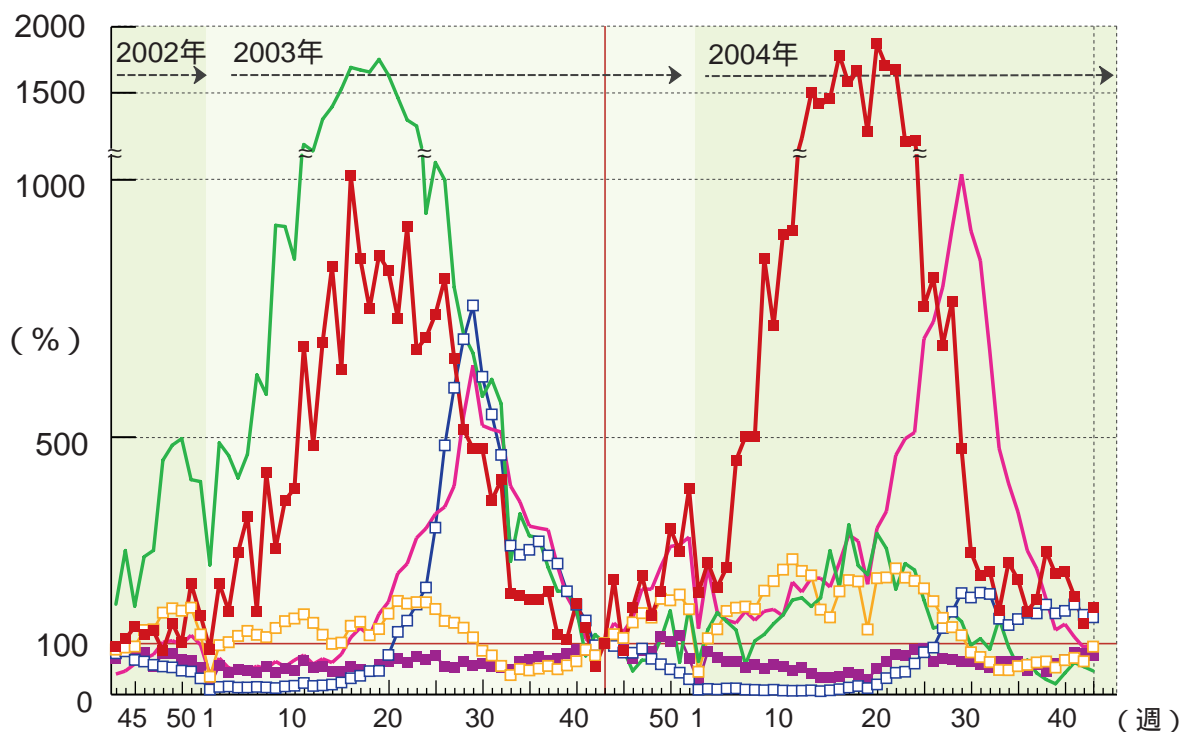


当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

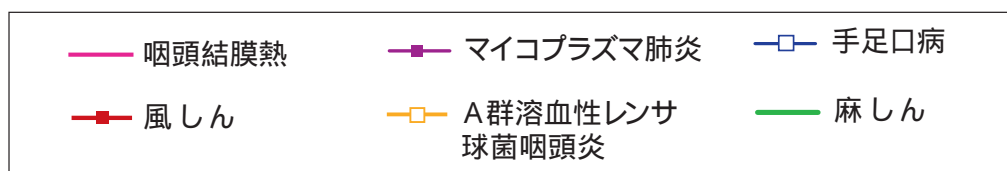
**小児科定点報告疾患**：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第25週に過去10年間の全ての週と比較して最高値となった後、第29週まで最高値を更新し続けた。その後、第40週の微増を除き、減少を続けたが、第43週は微増した。過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 )と比較してやや多く、都道府県別では福井県( 1.0 )が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第23週から減少し続けた後、第35週からは増加傾向が認められ、第43週も増加した。都道府県別では北海道( 2.0 )、大分県( 1.6 )が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第12週から減少傾向が続いた後、第31週からはほぼ横ばいで推移している。都道府県別では愛媛県( 5.3 )、三重県( 5.1 )、鳥取県( 5.1 )が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、都道府県別では岩手県( 1.6 )、福井県( 1.6 )が多い。手足口病の定点当たり報告数は第20週から第29週まで緩やかに増加した後、第32週までほぼ横ばいで推移した。第33週に微減したが、その後再びほぼ横ばいで推移している。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では宮崎県( 8.7 )、鹿児島県( 3.7 )が多い。風しんの定点当たり報告数は前週とほとんど同値で、都道府県別では14都道府県から報告があったが、いずれも0.1未満であった。麻しんの定点当たり報告数は前週とほとんど同値で、第1週から継続して、過去10年間の当該週と比較して最低値を示している。7都道府県から報告があったが、定点当たり報告数はいずれも0.1未満であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、第40週から増加傾向が認められており、第43週も増加した。都道府県別では佐賀県( 5.2 )、福井県( 3.6 )が多い。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて37都道府県から報告がなされ、報告数は合計105例であった。

**基幹定点報告疾患**：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は前週に続いて微減し、都道府県別では福島県( 1.3 )が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き( 第43週 )



2003年第43週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。





## 注目すべき感染症

### 急性脳炎( 2004年9月1日 ~ 11月7日報告分 )

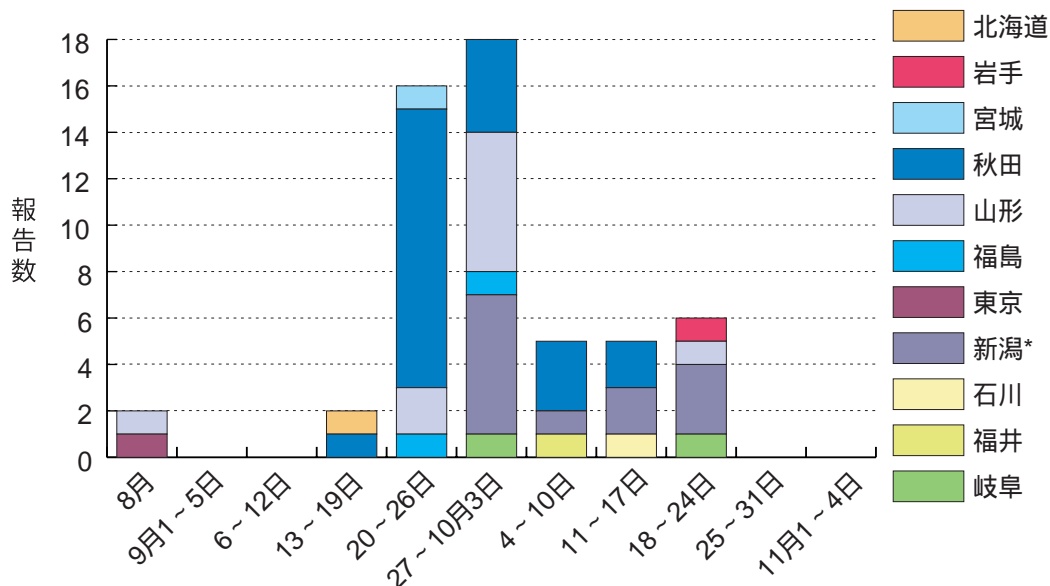
急性脳炎は2003年11月5日施行の感染症法一部改正によって、それまでの基幹定点からの報告による定点把握疾患から五類感染症全数把握疾患に変更され、診断した全ての医師に届出が義務づけられている。届出の対象は、四類感染症に規定されているウエストナイル脳炎および日本脳炎を除き、それ以外の病原体によるもの、病原体不明のものである。また届け出には、炎症所見が明らかでなくとも同様の症状を呈する脳症も含まれる。

2004年8月分までの報告例については、先の感染症週報39号「注目すべき感染症」において概要を述べたが、10月以降報告数の増加が目立っている。これらの多くは、秋田県、山形県、新潟県で発生している原因不明の急性脳症患者の報告であり、メディアなどでも報道されている。

感染症法のもとで、急性脳炎として2004年9月に報告( 診断日とは異なる )されたのは1例のみで、病原体がアデノウイルスと判明した症例であった。しかし、10月1日から11月7日までに報告された症例数は62例に上った。そのうち、病原体診断が得られている急性脳炎は7例( 単純ヘルペスウイルス3例、A型インフルエンザウイルス1例、EBウイルス1例、A群コクサッキーウイルス2型1例、肺炎球菌1例 )で、病原体不明は55例( 原因不明の急性脳症も含む )と多かった。病原体不明の55例の発症週別・都道府県報告数では、秋田県23例、新潟県12例、山形県10例が多く、福島県2例、岐阜県2例、北海道、岩手県、宮城県、東京都、石川県、福井県が各1例であった( 図1 )。発症日は、8月が2例、9月13 ~ 19日が2例、20 ~ 26日が16例、27 ~ 10月3日が18例、4 ~ 10日が5例、11 ~ 17日が5例、18 ~ 24日が6例で、他に9月中旬と記載されたものが1例であった。また、性別では男性23例、女性32例と女性が多く、年齢の中央値は69歳で、年齢群別では10代1例、20代3例、40代1例、50代6例、60代17例、70代15例、80代10例、90代2例であった( 図2 )。血液透析を受けているなど腎機能障害の有無については、全てが正確に把握されているとは言えないが、有りが20例、無しが2例、不明33例と記載されていた。また、転帰については、13例の死亡が確認されている。

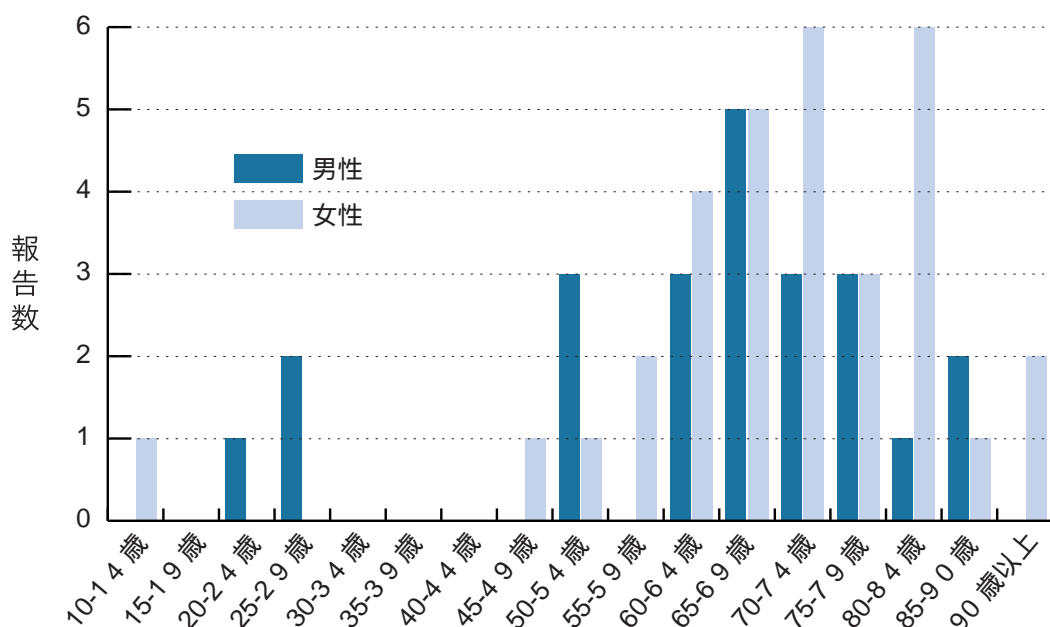
\* 速報として、関連記事を掲載しています。

図1. 発症週別・都道府県別にみた病原体不明の急性脳炎（脳症）



\*上記以外に発症日が9月中旬の1例あり。

図2. 性別・年齢別にみた病原体不明の急性脳炎（脳症）





## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所( 地研 )からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

( 2004年10月29日現在報告分 )

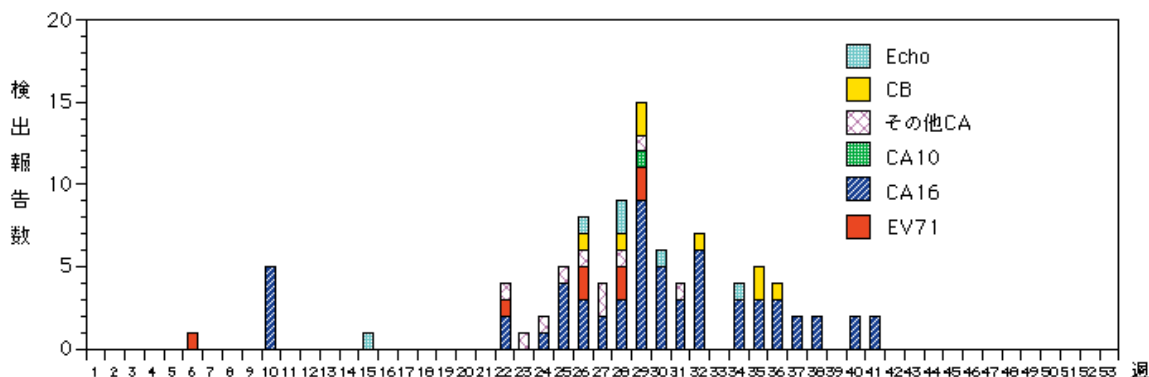
### 手足口病患者から検出されているウイルス 2004年

A群コクサッキーウイルス16型( CA16 )がこれまでに10県から60件( 愛知県14( IDWR2004年第34号9ページ速報記事参照 )、福岡県14、神奈川県9( IDWR2004年第37号9ページ速報記事参照 )、長野県6など )、エンテロウイルス71型( EV71 )は4都道県から8件( 北海道3、東京都3( IDWR2004年第27号9ページ速報記事参照 )、奈良県1、新潟県1 )が報告されている。その他に、CA16以外のCAが11件( 4型7、2型1、6型1、10型1、14型1 )、B群コクサッキーウイルスが8件( 1型3、5型3、2型1、3型1 )、エコーウイルスが6件( 6型2、18型2、16型1、27型1 )報告されている。

第36週( 8/30 ~ )以降では、CA16が神奈川県から5件( 第36 ~ 41週 )、島根県から3件( 第36、40週 )、熊本県から1件( 第37週 )、愛知県から1件( 第38週 )、CB1が大阪府から1件( 第36週 )が報告されている。

週別手足口病患者からのウイルス分離報告数、2004年

( 病原微生物検出情報 : 2004年10月29日現在報告数 )



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



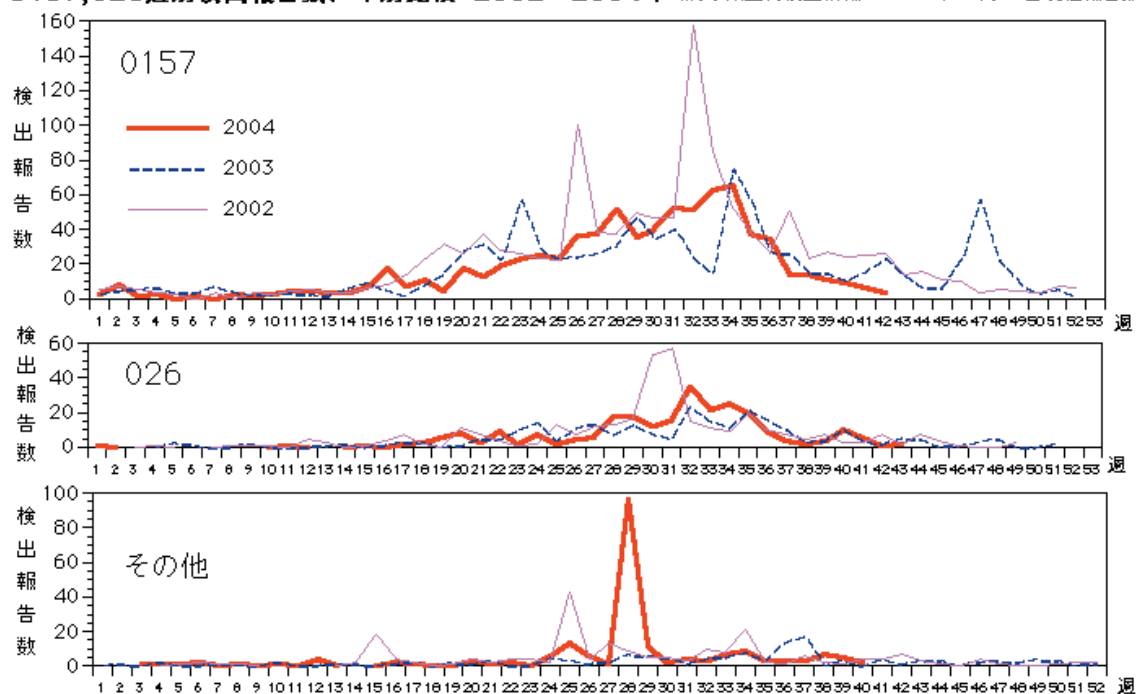
Infectious Agents Surveillance Report

### ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年

現在までの検出総数は1,222件で、うちO157が759件、O26が260件、その他の血清型が203件報告されている。O157は第20週( 5/10 ~ )に増加し始め、これまでのところ第34週が65件で最も報告が多い。O26は第28週から増加し、第32週が35件で最も多く、第32 ~ 34週には宮城県の保育所で起きた集団発生事例から23件の検出が報告されている。また、第28 ~ 29週に石川県の高校で修学旅行後の集団発生事例から、O111( VT1&2 )79件を主として複数の血清型が報告されている。第38週( 9/13 ~ )から第43週までの週別報告数は、O157が14、11、9、6、3、0、O26が2、4、10、6、1、2である。

最近ではO157が第41週に福岡県( VT1&2が2 )、宮城県( VT2が1 )、東京都( VT1&2が1 )、富山県( VT1&2が1 )、岐阜県( VT1&2が1 )、第42週に福岡県( VT1&2が2 )、東京都( VT2が1 )から、O26が第41週に宮城県( VT1が6、同一家族内2事例 )、第42 ~ 43週に富山県( VT1が3、同一家族内 )から報告されている。

**O157,O26週別検出報告数、年別比較 2002~2004年** (病原微生物検出情報：2004年10月29日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。







## 2004年9月上旬に発生したノロウイルスによる食中毒 - 青森県

2004年9月10日、例年になく早い時期に、青森市内のN飲食店においてノロウイルス(以下NV)による食中毒の発生があったので、報告する。

9月13日に青森市内の医療機関から青森保健所に、嘔吐、下痢、発熱(39℃)を主症状として食中毒様症状を呈している患者4人を診察したとの届出があった。保健所では食中毒と感染症の両面から患者の聞き取り調査を行った結果、11日に青森市内のN飲食店で行われた宴会での喫食が原因と推定した。11日の利用状況調査結果からは、予約宴会が6グループ49人、当日客が22人で、計71人の利用客があった。調査が可能であった利用客の49人中発症者は45人(うち通院40人)で、調理従事者では11人中発症者6人(通院5人)であった。

最初に14日に搬入された検体は、調理場のふきとり5検体(包丁、まな板、シンク、冷蔵庫、トイレ手洗い)、食品1検体(カツオ)、発症者便11検体(調理従事者便4検体)、非発症調理従事者便3検体で、発症者全員の便からNV遺伝子Genogroup(G)IIが検出された。そのうちの調理従事者3人と非発症者1人からは、GIとIIの両方が検出された。調理場のふきとり検体と食品では、nested PCRとリアルタイムPCRを実施したが、NV遺伝子は検出されなかった。翌15日には発症者の便11検体(調理従事者便2検体)と非発症調理従事者の便2検体が搬入されたが、13検体中12検体からNV遺伝子が検出された。このうち、GI、IIの両方が検出されたのは6検体、GIIのみの検出は6検体であった。発症、非発症の調理従事者4検体では、GI、II両方の検出が1検体、GIIのみの検出が3検体であった。電子顕微鏡によるウイルス検索では、27検体中12検体でNV粒子が確認された。細菌検査はすべて陰性であった。

今回の事例においては、10日夜～11日朝にかけて調理従事者3人と飲食店スタッフ1人が発症しており、そのうちの1人が11日の調理作業に従事したこと、また、非発症調理従事者の5人中3人からNV遺伝子が検出されており、不顕性感染状態で調理作業に従事したことで、食品を汚染したものと考えられた。

一方、保健所では疫学的調査を進めるとともに、調理従事者には、自主的な検査によりNV陰性を確認してから作業に従事するよう指導し、拡大、続発などの二次感染を抑制した。

今後、今回検出されたNVが5、6月に検出されたNVと類似株かどうかの解析を行い、また、これからNV流行のシーズンに入って類似株が出現するのかなど、NVの動向に注意している。

青森県環境保健センター・微生物部

三上稔之 石川和子 小笠原和彦 阿部幸一

青森保健所・生活衛生課

棟方美穂子 富吉篤弥 長峰光泰 小田桐和枝 小山田博也 小比類巻秀美

(IASR2004年11月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

## 急性脳症の集団発生報告 - 新潟県

2004年10月14日、厚生労働省は、新潟県村上保健所管内( 2002年人口81,861人 )に住む成人で起こった原因不明の急性脳症の集団発生の報告を受けた。さらに、小出保健所管内からも症例の報告があった。2004年9月27日から10月12日の間に、合計11例( 村上保健所 : 9例、小出保健所 : 2例 )が発症していた。年齢中央値は71歳( 範囲 : 53 ~ 89歳 )、7名が女性であった。9例は様々な程度の腎障害が認められ、うち半数以上が発症以前から血液透析を受けていた。

症状は、頭のふらふらする感じ、全身倦怠感、歩行障害で始まっていた。嘔吐や下痢は見られなかった。発症数日で、振戦様の不随意運動やミオクローヌスが出現し、24時間以内にコントロール困難な痙攣重積発作を起こしていた。発熱、頭痛や頂部硬直は殆どの症例で認められなかった。症例の半数以上が痙攣のコントロールのため人工呼吸器による呼吸管理が必要となった。また、1例で入院後に人工透析が開始された。4例が死亡、1例が退院、6例が入院中である。

髄液検査では、細胞数の増加はなく、蛋白の上昇が認められた。細菌培養およびウイルス分離では現在のところ陰性である。髄液のPCRでは、日本脳炎ウイルス、ウエストナイルウイルス、デングウイルス、サイトメガロウイルス、水痘-帯状疱疹ウイルス、単純ヘルペスウイルスは陰性であった。髄液および血清の抗体検査は結果が得られていない。頭部CTおよびMRI検査では、特徴的な所見は認められなかった。

10月16日、国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース( FETP )の疫学調査チームが、新潟県の集団発生調査のサポートのため村上市に到着した。適切な対策実施のため、症例の臨床的特徴、疫学的特徴の把握、集団発生の発生範囲の確認、疾患の原因候補、およびリスク要因の同定などを目的とした疫学調査が現在行われている。

追記 : *Pleurocybella porrigens* (和名、スギモタセ) というキノコに、原因物質の候補として最近注目が集まっている。このキノコは、本来、野生で自生し、長年日本のこの地域では、様々な調理方法で食用として多くの人に楽しまれてきた。このキノコに関する毒素や食中毒事例はこれまで知られていない。症例全員が、発症前に様々な量、様々な頻度で喫食していたが、現時点で、発症とこの食品とを結びつける決定的な疫学的な証拠は得られていない。しかし、このキノコの毒性の可能性をよりよく検証するため、集団発生地域から得られたサンプルを国立医薬品食品衛生研究所に送付し、科学的な分析を行う予定である。感染性および非感染性の原因候補の絞り込みのため、当面、国立感染症研究所は、臨床専門家や公衆衛生担当者と引き続き協力していく予定である。

新潟県福祉保健部副部長	鈴木幸雄
同部健康対策課長	石上和男

国立感染症研究所感染症情報センター  
 山口 亮 太田正樹 森山和郎 (以上FETP)  
 Paul Kitsutani 中島一敏 岡部信彦



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> ) をご覧下さい。

### 鳥インフルエンザのタイからベルギーへの持ち込み - 密輸された鳥類

OIE動物保健情報部 報告日: 2004年10月25日

鳥インフルエンザウイルスに感染しているタイから密輸された猛禽類2羽が、ベルギーのブリュッセル空港で押収された。

2004年10月18日にブリュッセル空港( Zaventem )の税関当局は、タイから密輸された猛禽類2羽の国内持ち込みを阻止した。旅行者が手荷物中にクマタカ( 英名Mountain hawk eagle、学名 *Spizaetus nipalensis* )2羽を隠し持っていた。税関当局は、鳥インフルエンザ流行の拡大を受けて2004年年初に導入された、東南アジアからの旅行者に対する検査強化対策に基づき、活動を行っていた。この間一貫してEUは、東南アジア諸国からの鳥類の輸入を厳しく禁止してきた。

問題の猛禽類は空港内の税関検査センター( PIF )に持ち込まれ、生きた動物の輸入を管理している食品安全局( AFSCA )の獣医官により検査された。クマタカ2羽は臨床症状を呈していなかった。密輸という観点から安楽死処分にされ、精査のため、ベルギーの鳥インフルエンザ診断委託検査機関であるCERVAへと送付された。

最初の検査結果は2004年10月22日に判明した。2羽は鳥インフルエンザウイルス陽性と確認された。タイピング検査により、東南アジアで感染循環しているものと同一株であるH5N1型と分類された。

検査結果を受け取り、AFSCAは直ちに、2004年10月18日以来、同空港の税関検査センター( PIF )を通関した他の鳥類の委託貨物すべてを追跡調査した。検査センターにはオウム2羽が保管されており、精査を実施するため、安楽死処分とされた。

加えて、アフリカからの鳥類の委託貨物2件もPIFで管理され、ベルギー国内の検疫センター内で当局による監視下に置かれた。

さらに、AFSCAはオランダとロシア当局に対し、差し当たり、アフリカからの他の鳥類の委託貨物6件がその2カ国の検疫センターに送付されたことを伝えた。

感染していた2羽が認定された検疫センターから出ていなかった事実から見て、今回、鳥インフルエンザ陽性の診断例がみられても、ベルギー国内の家禽の衛生状態には何らの影響もなかった。

これらの鳥類に直接、間接的に接触した人に対する必要な予防対策を実施できるよう、追跡調査されている。その中には、2004年10月18日、午前5時30分に到着したバンコク発ウィーン行きEVA航空BR0061便と、2004年10月18日、午前8時50分にブリュッセルに到着した、ウィーン発ブリュッセル行きオーストリア航空OS351便の搭乗客が含まれる。

### 米国、カナダでのウエストナイル熱流行状況

米国 ヒト患者: 2004年10月13日 ~ 19日

CDC/MMWR 2004; 53( 41 ); 971-972、10月22日

2004年10月13 ~ 19日の間に、ウエストナイル熱患者合計200名が20州( アリゾナ、アーカンソー、カリフォルニア、コロラド、イリノイ、インディアナ、アイオワ、カンザス、メリーランド、ミシガン、ミシシッピ、ミズーリ、ネバダ、ニューメキシコ、ノースカロライナ、オクラホマ、ペンシルバニア、サウスダコタ、ウィスコンシン、ワイオミング )から報告された。2004年これまでに、ArboNETを通じてCDCに対して、40州および連邦特別地区( DC )がウエストナイル熱患者合計2,151名を報告した。そのうち、687名( 32% )がカリフォルニア州から報告され、378名( 18% )がアリゾナ州から、

276名( 13% )がコロラド州から報告された。すべてのデータが確認されている患者2,118名中1,232名( 58% )が男性で、年齢の中央値は52歳( 範囲: 1カ月 ~ 99歳 )であった。発病日は4月23日 ~ 10月6日であった。患者68名が死亡した。

表. 米国でのウエストナイルウイルスの活動性

( CDCホームページより )

( 2004/1/1 ~ 2004/11/2 )

州	神経侵襲性 <sup>1)</sup>	ウエストナイル熱 <sup>2)</sup>	他 / 不明 <sup>3)</sup>	ヒト患者数	死亡者数
アラバマ	13	0	0	13	0
アリゾナ	128	70	183	381	10
アーカンソー	12	9	1	22	0
カリフォルニア	143	248	319	710	20
コロラド	39	237	0	276	3
コネチカット	0	1	0	1	0
コロンビア特別区	1	0	0	1	0
フロリダ	29	8	0	37	2
ジョージア	11	6	0	17	0
アイダホ	0	0	2	2	0
イリノイ	28	27	1	56	2
インディアナ	5	0	2	7	1
アイオワ	11	7	4	22	2
カンザス	18	25	0	43	2
ケンタッキー	1	6	0	7	0
ルイジアナ	68	17	0	85	7
メリーランド	6	5	1	12	0
ミシガン	10	1	0	11	0
ミネソタ	13	20	0	33	2
ミシシッピ	23	5	2	30	3
ミズーリ	25	9	2	36	1
モンタナ	2	3	1	6	0
ネブラスカ	4	26	0	30	0
ネバダ	25	19	0	44	0
ニュージャージー	1	0	0	1	0
ニューメキシコ	29	49	4	82	4
ニューヨーク	3	3	0	6	0
ノースカロライナ	3	0	0	3	0
ノースダコタ	2	18	0	20	1
オハイオ	11	1	0	12	2
オクラホマ	10	6	0	16	1
オレゴン	0	1	0	1	0
ペンシルバニア	8	3	1	12	2
サウスカロライナ	0	1	0	1	0
サウスダコタ	6	45	0	51	1
テネシー	9	1	0	10	0
テキサス	83	26	0	109	8
ユタ	6	5	0	11	0
バージニア	4	0	1	5	1
ウィスコンシン	4	6	0	10	1
ワイオミング	2	5	2	9	0
合計	796	919	526	2,241	76

1) 重症例を示し、特にウエストナイル髄膜炎やウエストナイル脳炎である。

2) 神経侵襲性の証拠がなく、より重症度の低い症例。ウエストナイル熱は現在、国レベルでは報告義務のある疾患ではない。したがって、州保健当局がCDCに報告するかどうかは任意である。

3) 「他」とはウエストナイル熱、ウエストナイル脳炎、あるいはウエストナイル髄膜炎以外の臨床所見を示す症例で、例えば急性弛緩性麻痺。「不明」とは十分な臨床情報が得られていない症例。

カナダでのヒト患者 ( 2004年10月19日現在 )  
 カナダ公衆衛生局、ウエストナイルウイルス監視、10月13日  
 カナダでのウエストナイルウイルス感染可能性または確定ヒト患者総数は10月13日以  
 来変化なく、現在29名である。死亡者は報告されていない。

州	ヒト患者数	渡航関連患者数
アルバータ	2	1
マニトバ	3	2
オンタリオ	13	2
ケベック	1	0
サスカチワン	10	0
合 計	29	5



## 感染症の話

\*\*\*\*\*

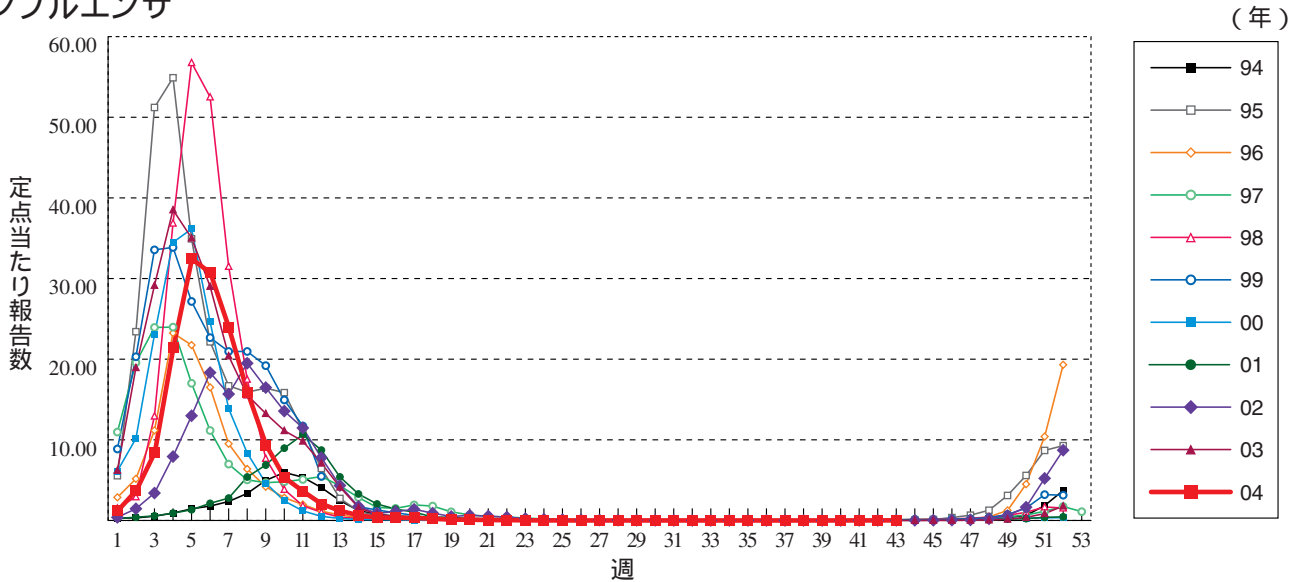
今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

\*\*\*\*\*

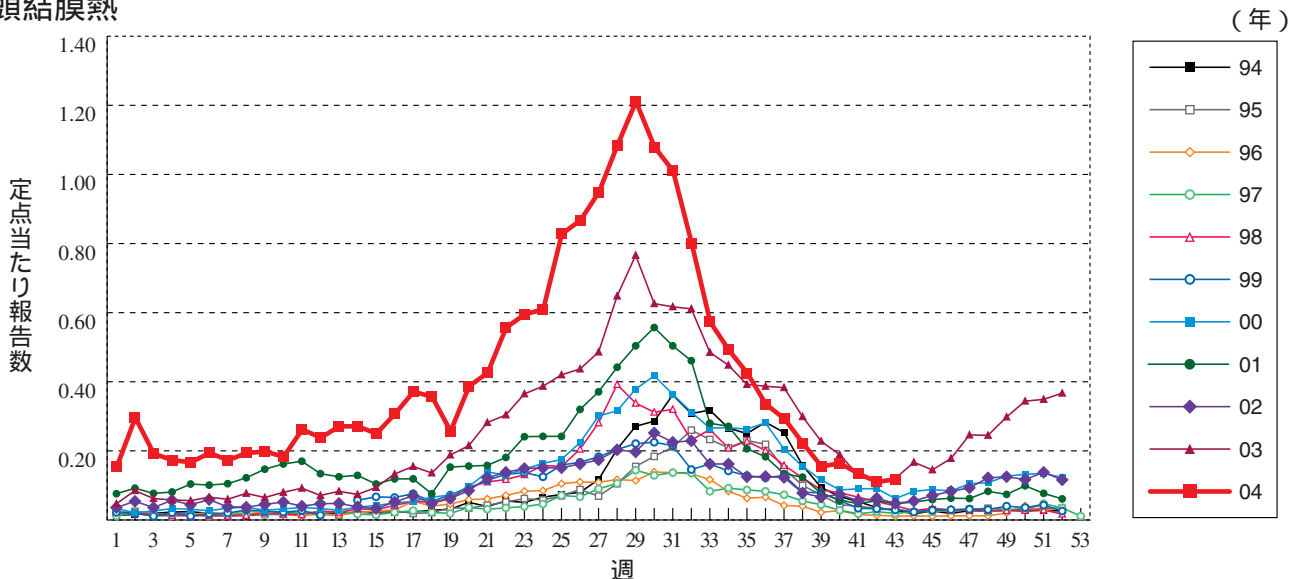


**グラフ総覧( 43週 )**

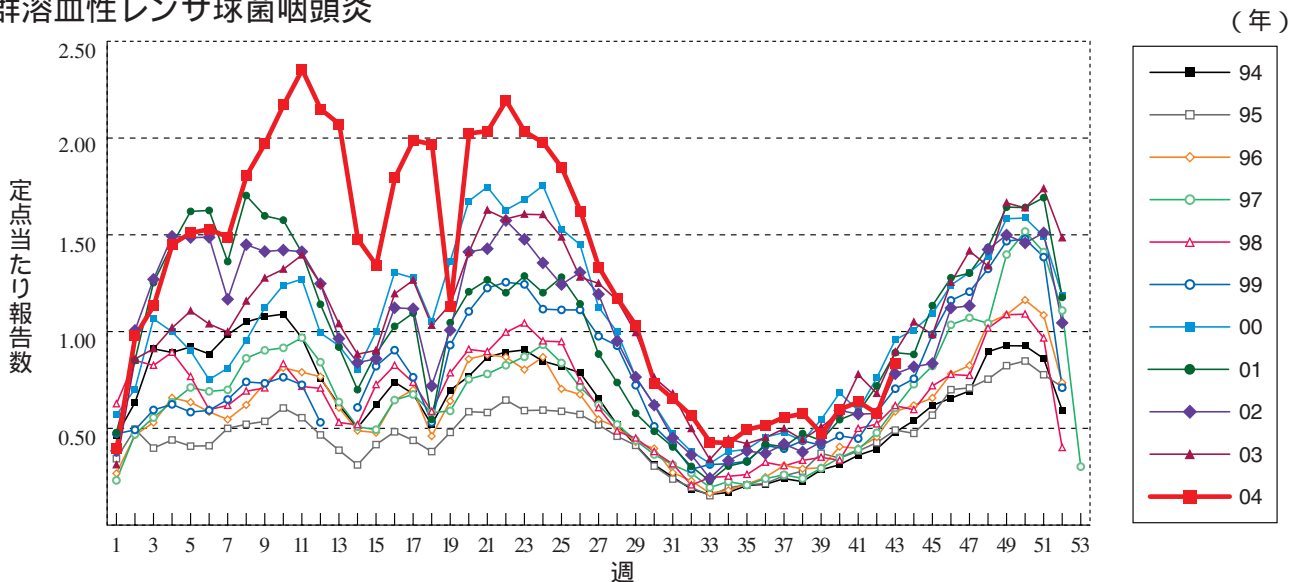
**インフルエンザ**



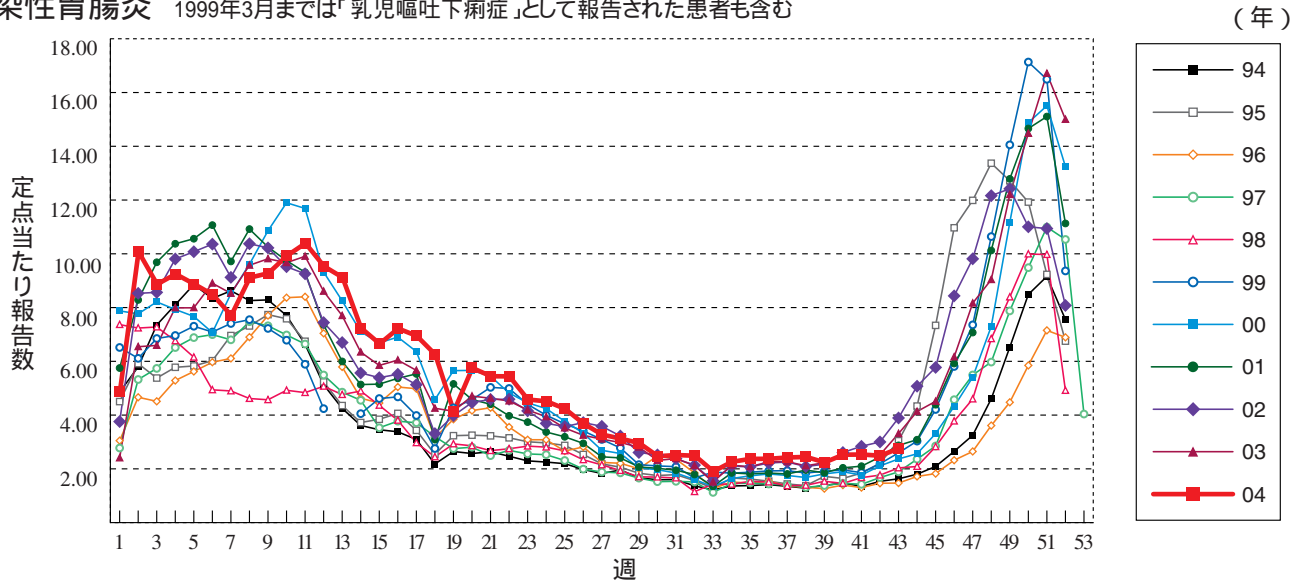
**咽頭結膜熱**



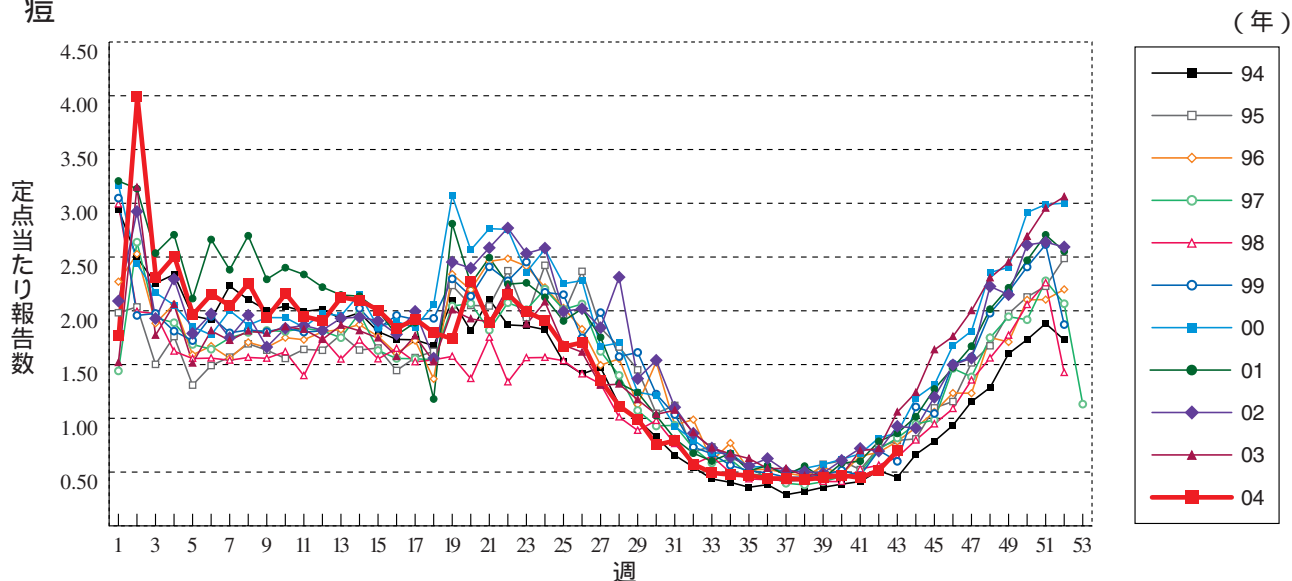
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



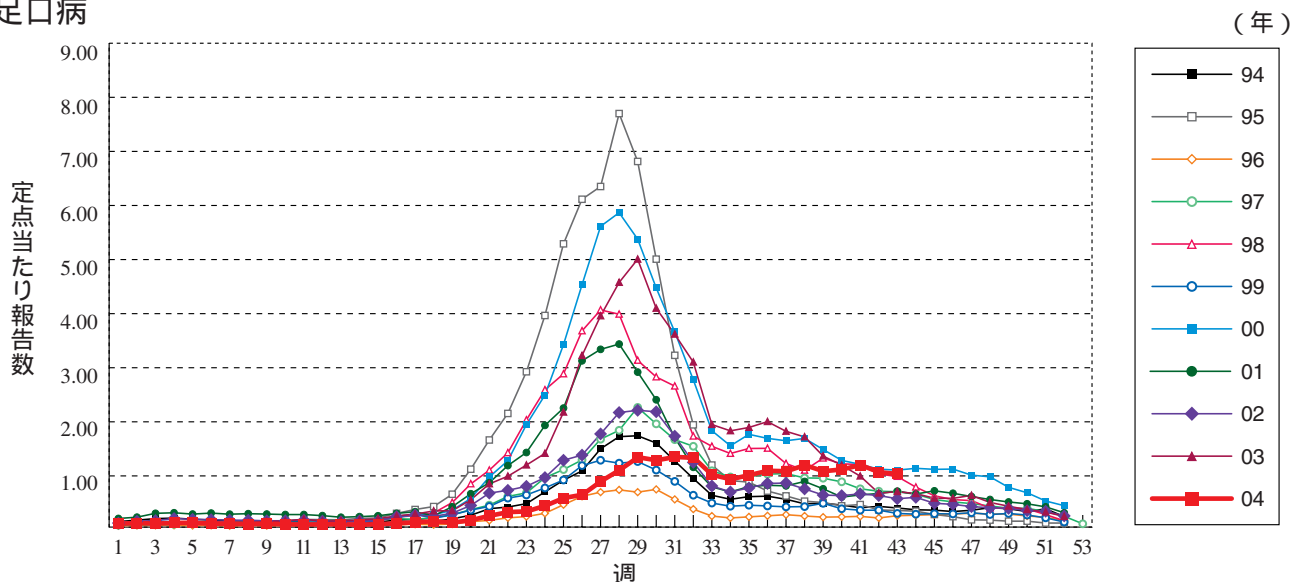
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



**水痘**

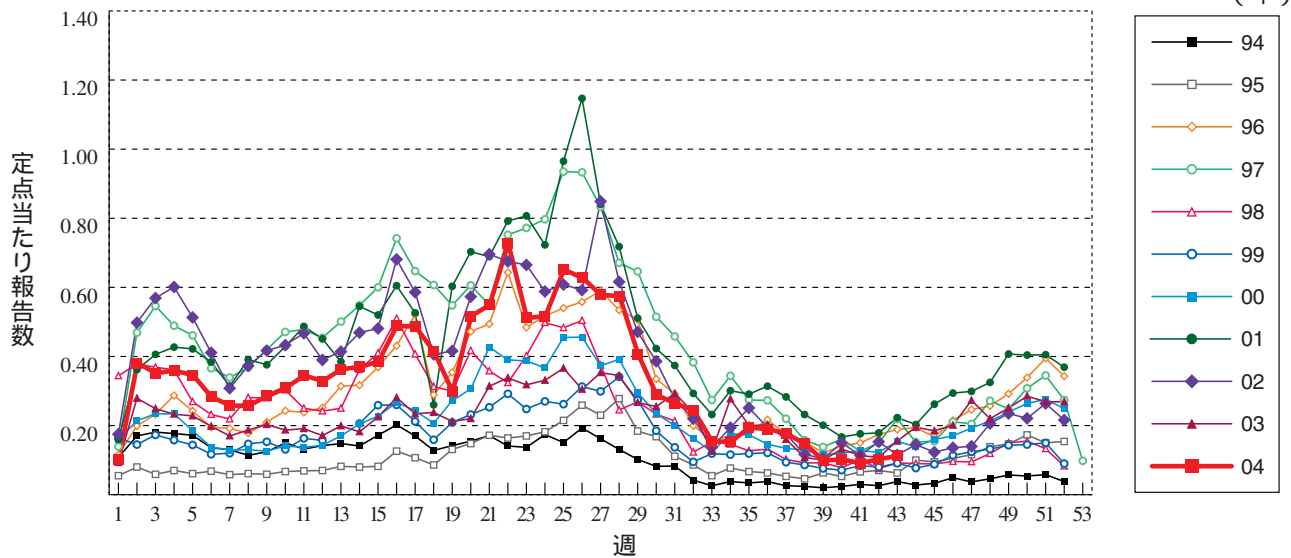


**手足口病**

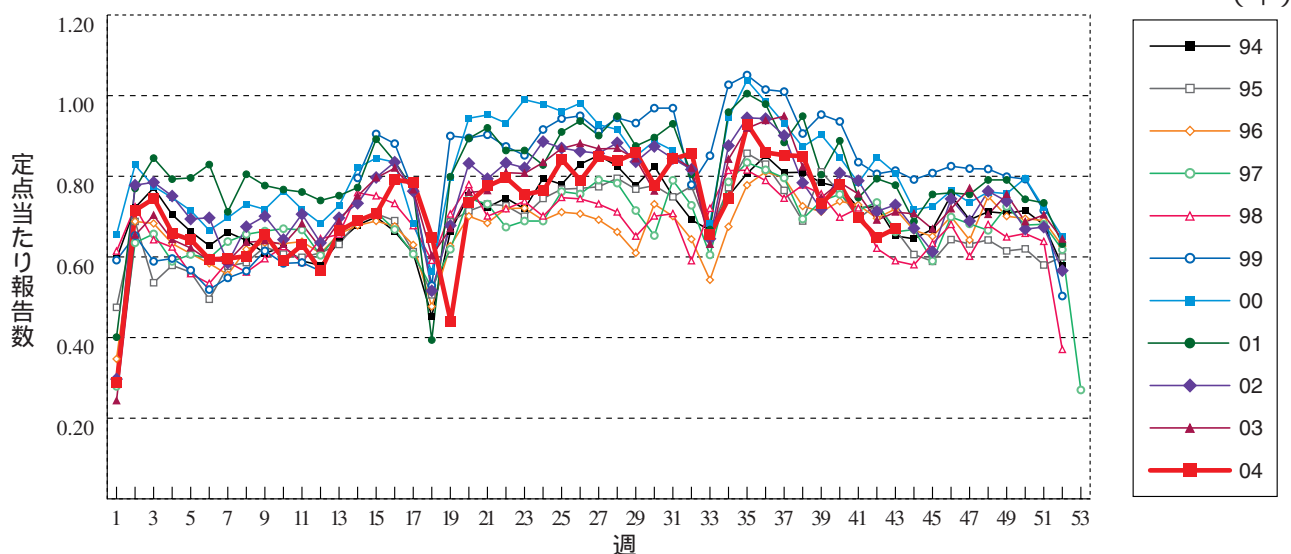




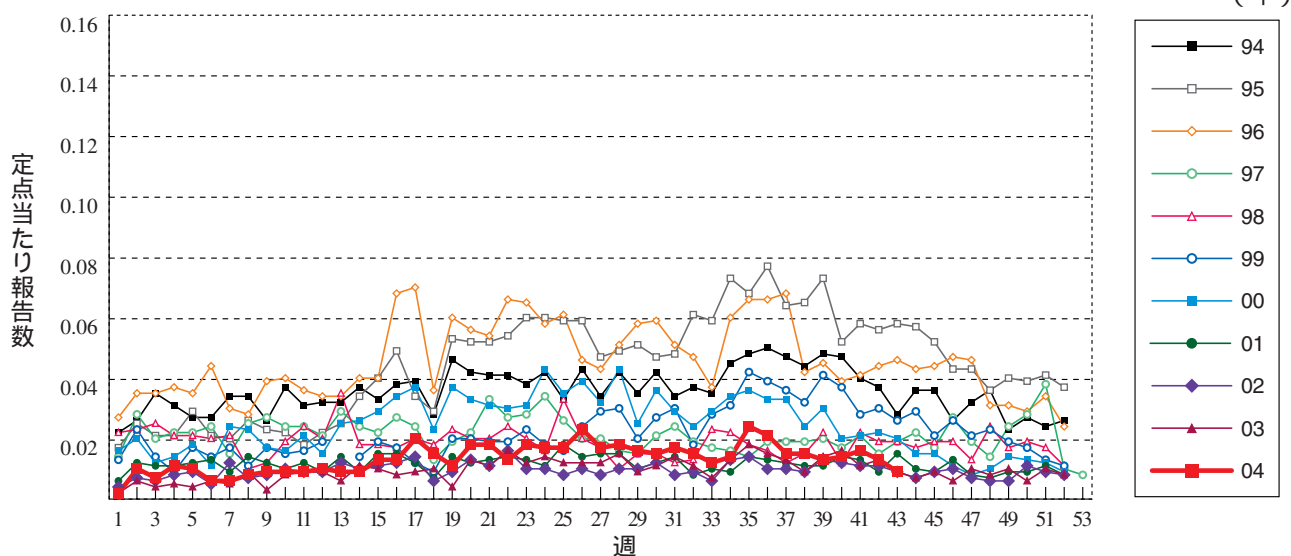
伝染性紅斑



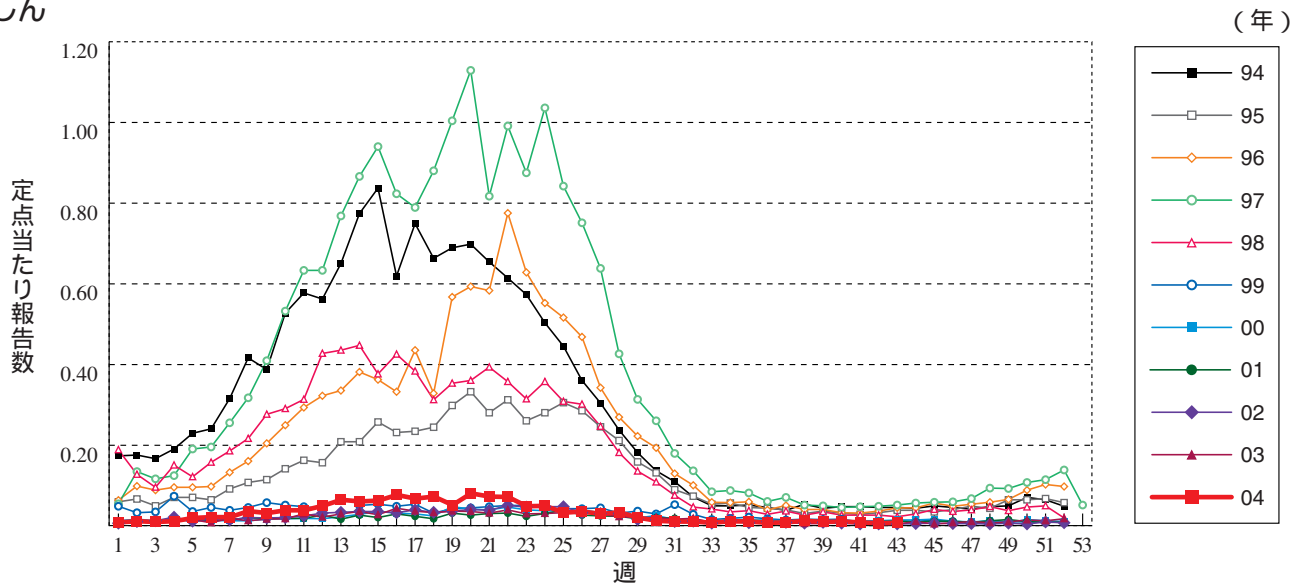
突発性発しん



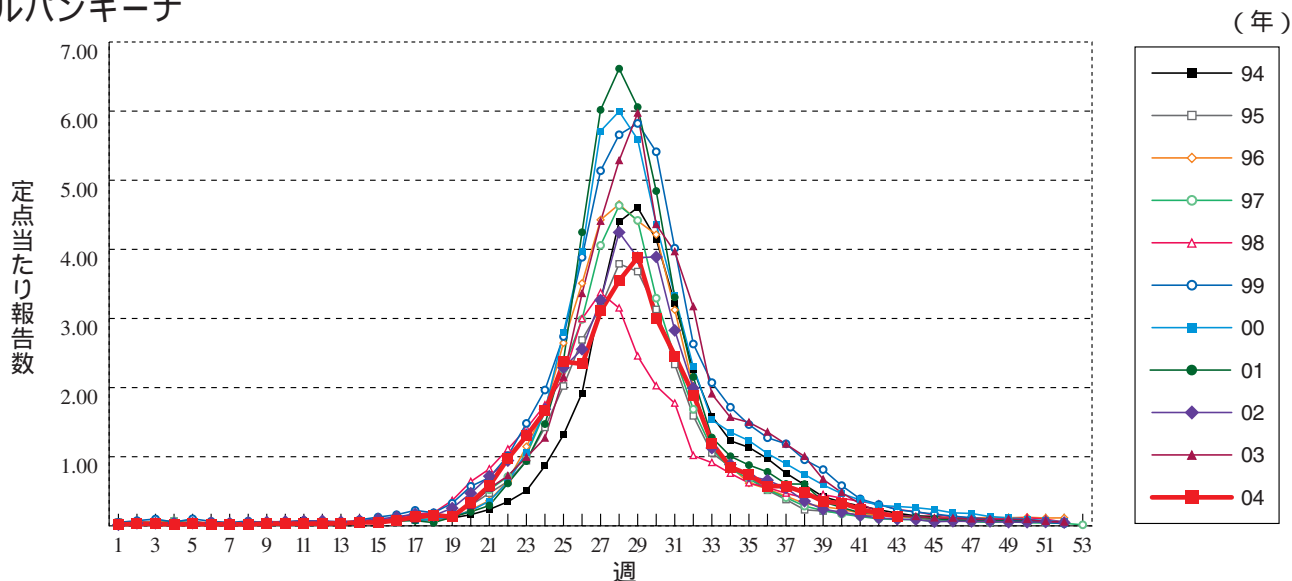
百日咳



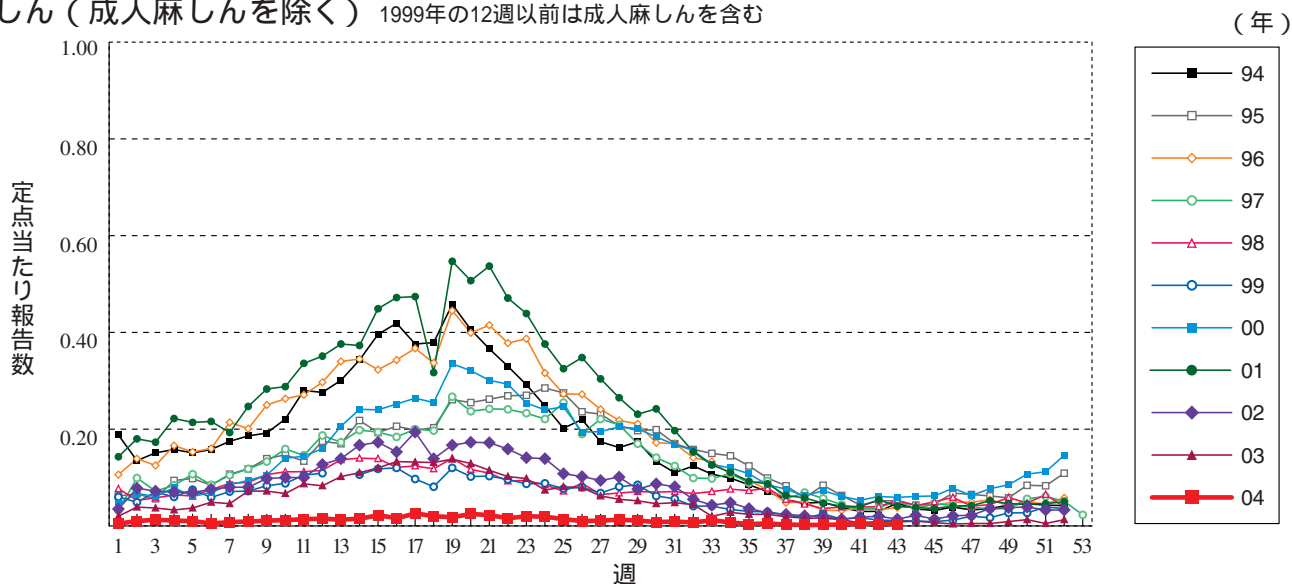
風しん



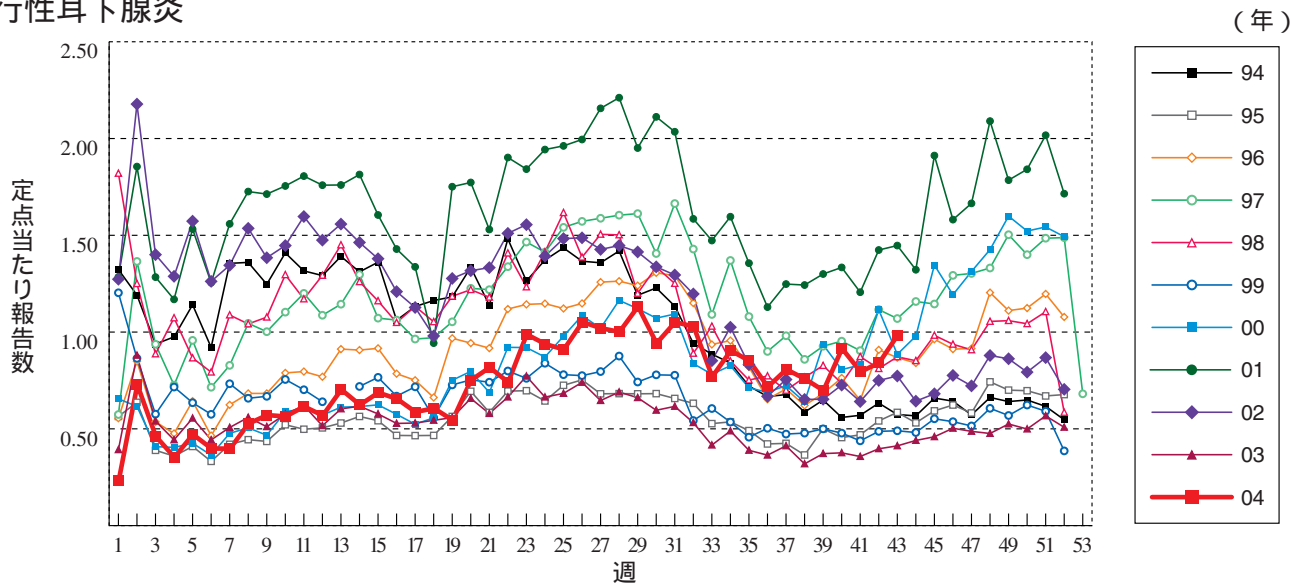
ヘルパンギーナ



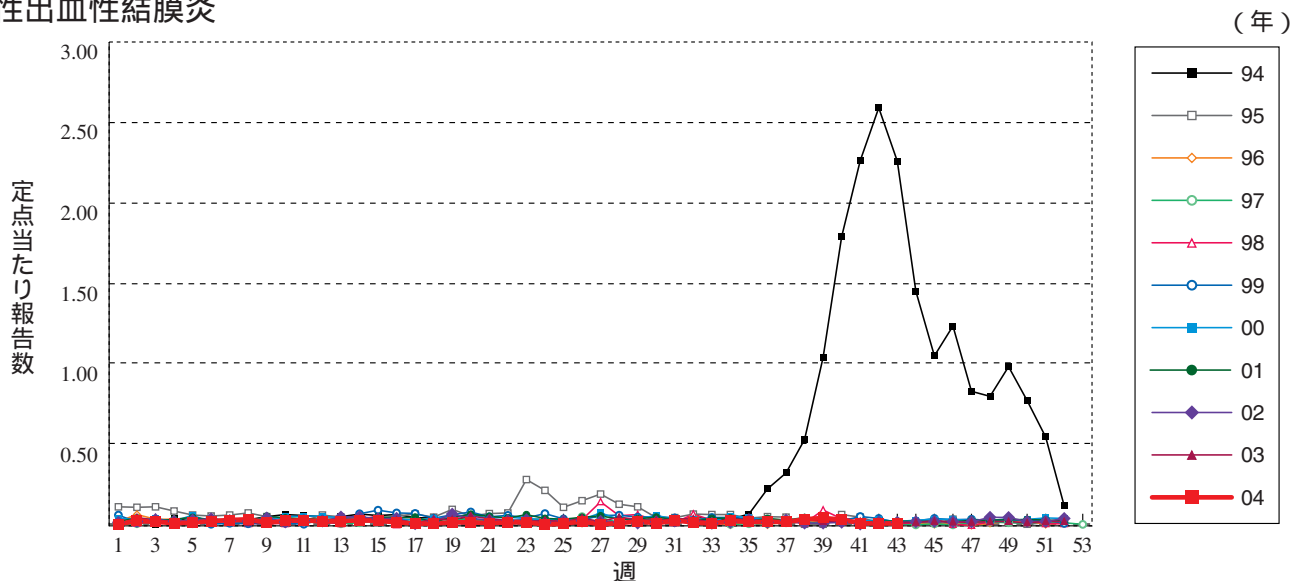
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



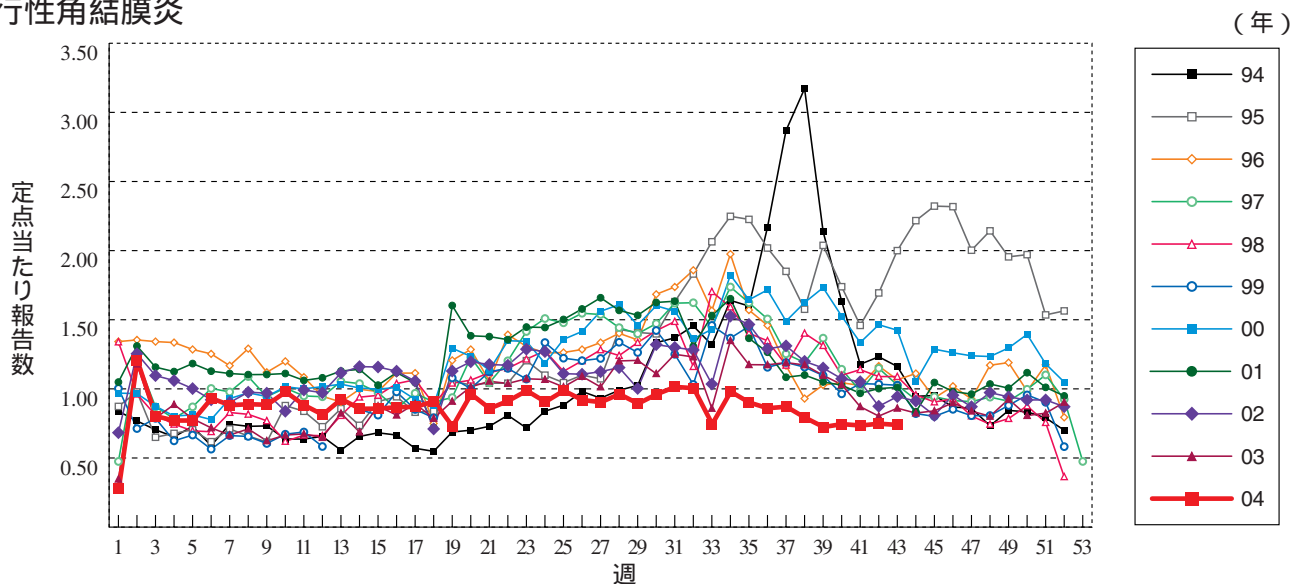
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

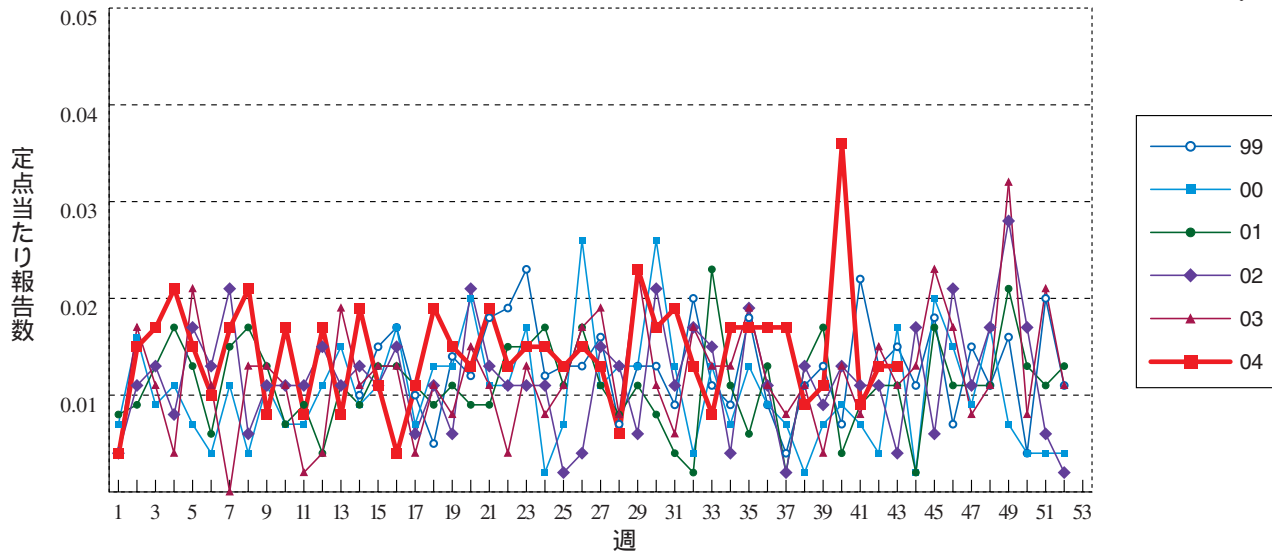


流行性角結膜炎



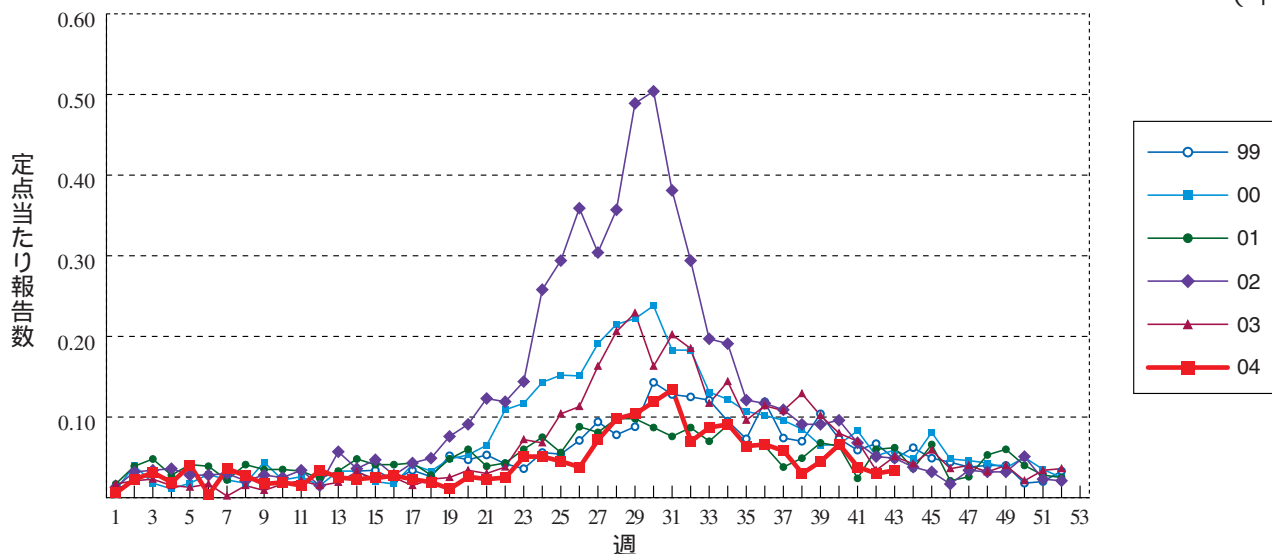
細菌性髄膜炎

(年)



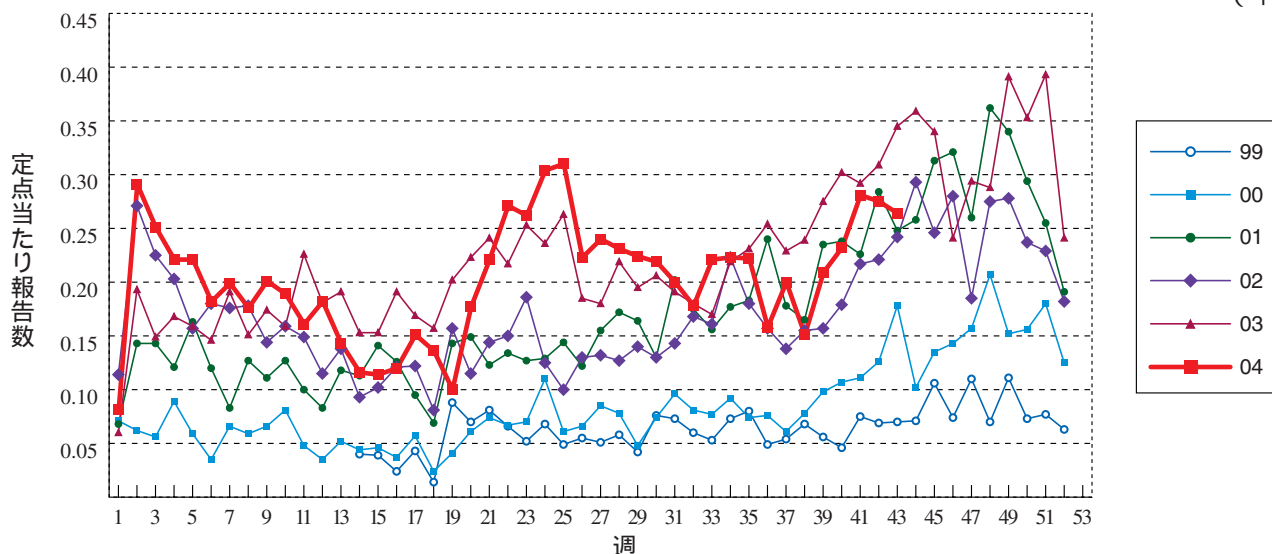
無菌性髄膜炎

(年)



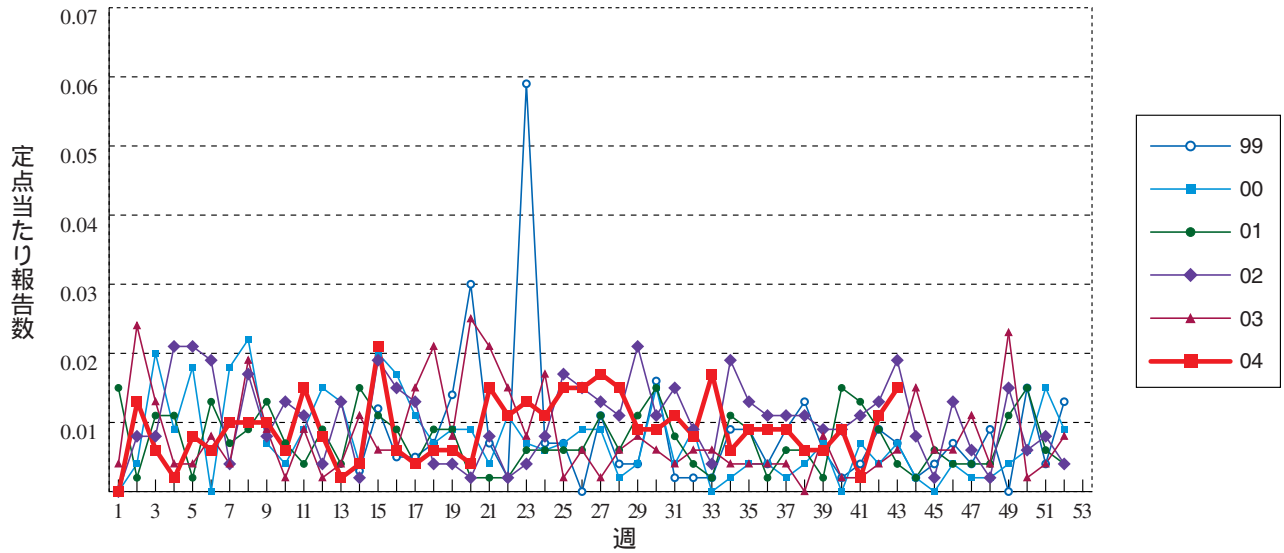
マイコプラズマ肺炎

(年)



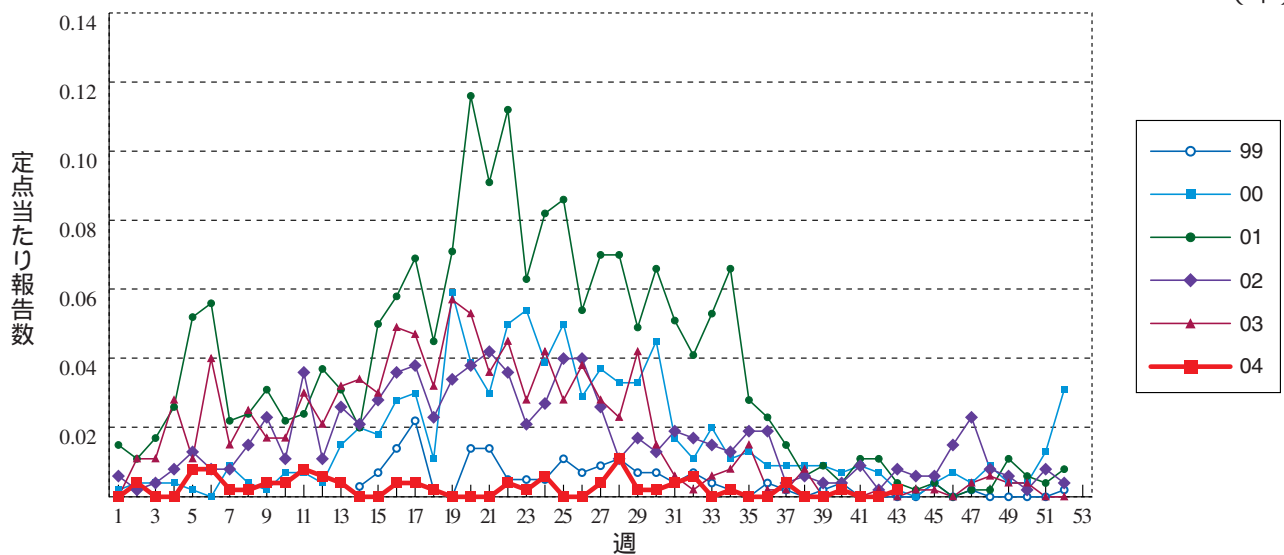
クラミジア肺炎 ( オウム病を除く )

( 年 )



成人麻疹

( 年 )





### 43週のデータ

注)表中の報告数は10月28日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年43週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	73	7	500	3	59	3	74
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	17	-	2	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10	-	1	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	27	-	2	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	38	-	4	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	4	113	-	14	-	15
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	22	-	5	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	10	-	2	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	8	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	22	-	6	1	9
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1	2	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	1	2	-	4
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	45	-	3	1	8
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	22	-	5	1	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	11	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10	1	2	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年43週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	46	3304	4	479	-	23	-	-	-	37	-	-	4	242
北海道	-	-	-	-	-	66	-	12	-	22	-	-	-	1	-	-	-	9
青森県	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	1	146	-	12	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
秋田県	-	-	-	-	-	44	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	18	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	51	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	20	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	2	37	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	85	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	1	5
埼玉県	-	-	-	-	-	76	-	18	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	2	126	1	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
東京都	-	-	-	-	4	248	1	112	-	-	-	-	-	3	-	-	-	48
神奈川県	-	-	-	-	1	87	-	24	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10
新潟県	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	2	21	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	-	172	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	2	40	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長野県	-	-	-	-	-	60	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	1	36	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
静岡県	-	-	-	-	-	61	-	18	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	1	155	2	39	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	2	76	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	20	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	60	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大阪府	-	-	-	-	7	227	-	55	-	-	-	-	-	6	-	-	1	27
兵庫県	-	-	-	-	6	137	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
奈良県	-	-	-	-	1	53	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
和歌山県	-	-	-	-	1	16	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	1	181	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
広島県	-	-	-	-	2	87	-	11	-	-	-	-	-	2	-	-	1	11
山口県	-	-	-	-	1	45	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	60	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	2	81	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	3	165	-	19	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-	43	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	69	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	1	80	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	24	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	2	42	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	1	29	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年43週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	7	-	-	1	91	3	136	1	48	21	930	-	6	-	70	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	6	-	2	-	10	-	-	-	3	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	4	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	28	-	4	-	1	1	34	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	1	54	-	4	-	2	3	46	-	1	-	11	-	-
東京都	-	1	-	-	-	8	1	16	-	5	5	339	-	1	-	16	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	3	-	54	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	33	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	2	1	29	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	3	1	59	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	5	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	2	18	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	5	6	108	-	1	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	3	-	22	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4	-	15	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	14	-	-	-	3	-	-



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年43週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	20	-	8	-	-	3	106	2	40	2	57	-	5	5	414	-	82
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	4
青森県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	9	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	3	11	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	12	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	4	-	-	-	8	-	3
東京都	-	6	-	3	-	-	6	1	24	-	-	-	-	-	1	54	-	2
神奈川県	-	3	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	13	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	4	-	3
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	11	-	3
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	30	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	13	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	50	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	11	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-	-	1	-	3
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	1	-	-	8	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	9	-	-	-	11	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	8	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	8	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	27	-	2	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	2	1	-	-	-	1	-	24	-	2	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	8	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	1	3	-	-	-	4	-	3
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	30	-	-	-	7	-	-	-	7	-	5
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年43週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61	-	3	1	118
北海道	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5
秋田県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	16
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	7
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年43週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	26	-	-	-	121	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	3	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年43週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	2	13	13	95	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	9	21	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	3	-	8	-	-
神奈川県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-

**全数把握疾患表注釈**

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正( 施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照 )により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年43週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	60	0.01	359	0.12	2532	0.83	8391	2.76	2130	0.70	3004	0.99	340	0.11	2040	0.67	26	0.01
北海道	2	0.01	59	0.41	289	2.02	354	2.48	197	1.38	184	1.29	28	0.20	85	0.59	-	-
青森県	-	-	5	0.12	25	0.60	49	1.17	27	0.64	58	1.38	4	0.10	28	0.67	-	-
岩手県	-	-	3	0.08	25	0.69	42	1.17	58	1.61	13	0.36	11	0.31	20	0.56	1	0.03
宮城県	1	0.01	1	0.02	70	1.19	166	2.81	71	1.20	100	1.69	14	0.24	43	0.73	-	-
秋田県	-	-	6	0.17	38	1.09	102	2.91	20	0.57	4	0.11	-	-	9	0.26	-	-
山形県	1	0.02	5	0.17	46	1.53	86	2.87	18	0.60	10	0.33	9	0.30	13	0.43	-	-
福島県	-	-	5	0.10	46	0.96	182	3.79	49	1.02	94	1.96	12	0.25	46	0.96	-	-
茨城県	-	-	3	0.04	56	0.76	130	1.76	21	0.28	45	0.61	1	0.01	24	0.32	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	15	0.33	93	2.02	35	0.76	31	0.67	7	0.15	30	0.65	1	0.02
群馬県	-	-	7	0.11	68	1.10	147	2.37	57	0.92	44	0.71	-	-	41	0.66	-	-
埼玉県	1	0.00	21	0.13	122	0.76	515	3.20	135	0.84	88	0.55	19	0.12	112	0.70	8	0.05
千葉県	3	0.01	8	0.06	93	0.73	293	2.29	64	0.50	137	1.07	20	0.16	117	0.91	4	0.03
東京都	24	0.13	12	0.08	62	0.44	342	2.41	80	0.56	150	1.06	12	0.08	84	0.59	1	0.01
神奈川県	-	-	19	0.09	134	0.65	499	2.42	136	0.66	153	0.74	24	0.12	143	0.69	-	-
新潟県	-	-	5	0.08	71	1.18	149	2.48	60	1.00	33	0.55	10	0.17	38	0.63	-	-
富山県	-	-	3	0.10	35	1.21	139	4.79	15	0.52	61	2.10	1	0.03	15	0.52	-	-
石川県	1	0.02	4	0.14	22	0.76	95	3.28	23	0.79	67	2.31	11	0.38	18	0.62	-	-
福井県	2	0.07	21	0.95	24	1.09	99	4.50	36	1.64	56	2.55	5	0.23	16	0.73	-	-
山梨県	-	-	-	-	19	0.76	33	1.32	12	0.48	29	1.16	2	0.08	6	0.24	-	-
長野県	-	-	3	0.05	69	1.25	167	3.04	42	0.76	15	0.27	3	0.05	34	0.62	1	0.02
岐阜県	-	-	6	0.11	21	0.40	70	1.32	29	0.55	4	0.08	3	0.06	27	0.51	1	0.02
静岡県	-	-	6	0.07	62	0.72	311	3.62	40	0.47	106	1.23	8	0.09	73	0.85	1	0.01
愛知県	-	-	13	0.07	107	0.59	380	2.09	71	0.39	56	0.31	20	0.11	89	0.49	1	0.01
三重県	-	-	5	0.11	33	0.73	230	5.11	51	1.13	63	1.40	2	0.04	44	0.98	-	-
滋賀県	-	-	1	0.03	17	0.52	46	1.39	26	0.79	38	1.15	-	-	23	0.70	-	-
京都府	-	-	2	0.03	19	0.25	262	3.45	29	0.38	42	0.55	7	0.09	39	0.51	1	0.01
大阪府	6	0.02	21	0.11	167	0.86	489	2.51	87	0.45	86	0.44	19	0.10	115	0.59	2	0.01
兵庫県	5	0.03	15	0.12	103	0.80	469	3.66	57	0.45	65	0.51	16	0.13	97	0.76	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	15	0.43	77	2.20	11	0.31	19	0.54	3	0.09	16	0.46	-	-
和歌山県	-	-	3	0.10	13	0.42	52	1.68	35	1.13	44	1.42	3	0.10	16	0.52	-	-
鳥取県	2	0.07	-	-	29	1.53	96	5.05	12	0.63	8	0.42	-	-	18	0.95	-	-
島根県	-	-	-	-	16	0.70	67	2.91	20	0.87	25	1.09	2	0.09	24	1.04	-	-
岡山県	-	-	2	0.04	36	0.67	180	3.33	43	0.80	7	0.13	2	0.04	30	0.56	-	-
広島県	-	-	15	0.20	34	0.45	256	3.41	55	0.73	16	0.21	5	0.07	43	0.57	3	0.04
山口県	-	-	3	0.06	55	1.12	201	4.10	25	0.51	37	0.76	7	0.14	46	0.94	-	-
徳島県	-	-	5	0.22	8	0.35	45	1.96	31	1.35	3	0.13	2	0.09	15	0.65	-	-
香川県	-	-	1	0.03	20	0.63	80	2.50	19	0.59	20	0.63	6	0.19	13	0.41	-	-
愛媛県	-	-	-	-	54	1.38	207	5.31	14	0.36	32	0.82	3	0.08	34	0.87	-	-
高知県	-	-	4	0.13	37	1.19	60	1.94	7	0.23	58	1.87	1	0.03	17	0.55	-	-
福岡県	12	0.06	18	0.15	109	0.91	336	2.80	90	0.75	206	1.72	11	0.09	101	0.84	1	0.01
佐賀県	-	-	2	0.09	26	1.13	26	1.13	16	0.70	23	1.00	7	0.30	32	1.39	-	-
長崎県	-	-	13	0.30	55	1.25	111	2.52	21	0.48	30	0.68	1	0.02	26	0.59	-	-
熊本県	-	-	18	0.37	26	0.53	128	2.61	28	0.57	59	1.20	6	0.12	33	0.67	-	-
大分県	-	-	2	0.06	57	1.58	137	3.81	39	1.08	49	1.36	6	0.17	29	0.81	-	-
宮崎県	-	-	9	0.24	52	1.41	183	4.95	53	1.43	322	8.70	2	0.05	52	1.41	-	-
鹿児島県	-	-	2	0.04	26	0.47	165	3.00	49	0.89	205	3.73	2	0.04	41	0.75	-	-
沖縄県	-	-	1	0.03	6	0.18	45	1.32	16	0.47	9	0.26	3	0.09	25	0.74	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年43週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	22	0.01	423	0.14	11	0.00	2989	0.98	10	0.02	471	0.74	6	0.01	16	0.03	124	0.26
北海道	4	0.03	72	0.50	1	0.01	86	0.60	-	-	18	0.62	-	-	1	0.04	5	0.22
青森県	1	0.02	5	0.12	-	-	21	0.50	-	-	2	0.18	-	-	-	-	2	0.33
岩手県	1	0.03	13	0.36	-	-	20	0.56	-	-	8	0.67	-	-	-	-	10	0.50
宮城県	-	-	52	0.88	-	-	27	0.46	2	0.18	1	0.09	-	-	-	-	11	0.92
秋田県	-	-	10	0.29	-	-	2	0.06	1	0.14	2	0.29	-	-	-	-	5	0.71
山形県	-	-	-	-	-	-	44	1.47	-	-	5	0.63	-	-	-	-	7	0.70
福島県	1	0.02	26	0.54	-	-	28	0.58	-	-	8	0.67	-	-	-	-	9	1.29
茨城県	-	-	7	0.09	1	0.01	22	0.30	-	-	28	1.75	-	-	-	-	4	0.36
栃木県	2	0.04	1	0.02	-	-	15	0.33	-	-	7	0.58	2	0.29	2	0.29	-	-
群馬県	-	-	17	0.27	-	-	87	1.40	-	-	38	2.71	-	-	1	0.10	3	0.30
埼玉県	-	-	11	0.07	2	0.01	180	1.12	-	-	39	1.05	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	0.02	9	0.07	1	0.01	200	1.56	1	0.03	22	0.65	1	0.11	1	0.11	5	0.56
東京都	-	-	12	0.08	-	-	81	0.57	-	-	11	0.79	-	-	-	-	5	0.20
神奈川県	1	0.00	23	0.11	2	0.01	186	0.90	-	-	32	0.76	-	-	1	0.08	-	-
新潟県	-	-	5	0.08	-	-	81	1.35	-	-	2	0.22	1	0.08	1	0.08	6	0.46
富山県	-	-	6	0.21	-	-	30	1.03	-	-	6	0.86	-	-	-	-	2	0.40
石川県	-	-	1	0.03	-	-	6	0.21	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	0.05	-	-	78	3.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	4	0.16	-	-	8	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	10	0.18	-	-	33	0.60	-	-	3	0.27	-	-	-	-	6	0.55
岐阜県	-	-	8	0.15	2	0.04	105	1.98	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	16	0.19	-	-	85	0.99	-	-	13	0.65	-	-	1	0.10	3	0.30
愛知県	1	0.01	15	0.08	2	0.01	219	1.20	-	-	24	0.69	-	-	-	-	2	0.15
三重県	-	-	1	0.02	-	-	28	0.62	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	1	0.03	-	-	-	-	28	0.85	-	-	-	-	-	-	1	0.14	3	0.43
京都府	1	0.01	10	0.13	-	-	33	0.43	1	0.06	4	0.22	-	-	2	0.33	-	-
大阪府	2	0.01	21	0.11	-	-	238	1.22	-	-	19	0.39	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	-	-	12	0.09	-	-	106	0.83	-	-	23	0.66	-	-	1	0.08	2	0.17
奈良県	-	-	-	-	-	-	37	1.06	-	-	10	1.11	-	-	-	-	3	0.50
和歌山県	1	0.03	6	0.19	-	-	56	1.81	-	-	-	-	1	0.09	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-	4	0.21	-	-	3	1.00	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	1	0.04	-	-	9	0.39	-	-	1	0.33	-	-	2	0.25	-	-
岡山県	1	0.02	1	0.02	-	-	36	0.67	1	0.08	11	0.92	-	-	-	-	1	0.20
広島県	-	-	7	0.09	-	-	77	1.03	1	0.05	29	1.45	-	-	1	0.05	7	0.37
山口県	-	-	4	0.08	-	-	38	0.78	-	-	6	0.67	-	-	-	-	2	0.22
徳島県	-	-	-	-	-	-	5	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	-	-	18	0.56	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	4	0.10	-	-	48	1.23	-	-	10	1.43	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	5	0.16	-	-	14	0.45	2	0.67	4	1.33	-	-	-	-	5	0.56
福岡県	-	-	5	0.04	-	-	281	2.34	1	0.04	18	0.69	1	0.07	-	-	2	0.13
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	119	5.17	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	2	0.05	-	-	9	0.20	-	-	5	0.63	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	2	0.04	10	0.20	-	-	49	1.00	-	-	4	0.44	-	-	-	-	2	0.13
大分県	-	-	1	0.03	-	-	21	0.58	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	4	0.11	-	-	56	1.51	-	-	10	2.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	17	0.31	-	-	4	0.57	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	-	-	3	0.09	-	-	18	0.53	-	-	32	3.20	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年43週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	7	0.01	1	0.00	105
北海道	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	8
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	...
山形県	1	0.10	-	-	3
福島県	2	0.29	-	-	12
茨城県	-	-	-	-	1
栃木県	1	0.14	-	-	3
群馬県	1	0.10	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	23
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	2
山梨県	2	0.20	-	-	...
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	6
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	18
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	1	0.14	3
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	...

**定点把握疾患表注釈**

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正( 施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照 )により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県( ... )が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第43号 平成16年11月8日発行  
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報( 厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。